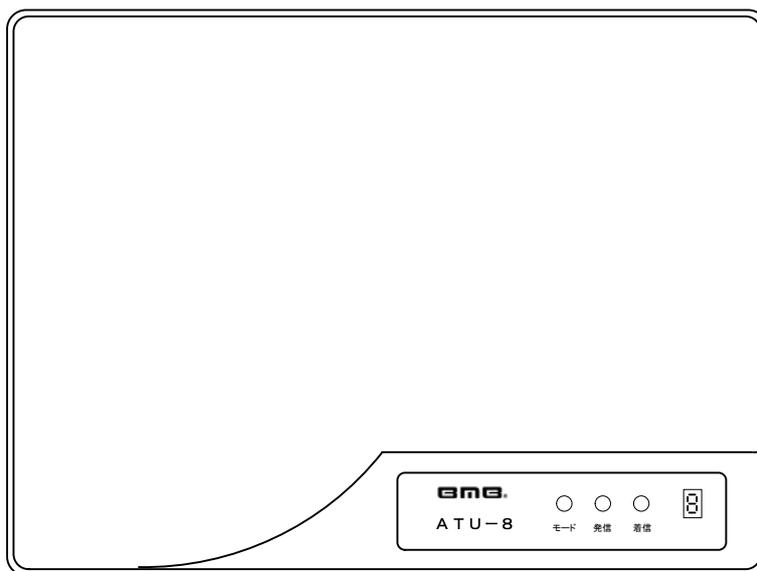


BMB®

ナンバー・ディスプレイ対応 8回線自動切替装置

ATU-8

取扱説明書



ご使用の前に必ずお読みください。

このたびは、8回線自動切替装置ATU-8をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくためにご使用の前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、保証書と一緒に保管してください。
使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

本機の設定を行う場合、トーンダイヤルの発信できる電話機が必要になる場合があります。

本機は、技術基準適合認定品です。
A02-0370JP

安全上のご注意

・・・安全に正しくお使い頂くために・・・

◎絵表示について

この取扱説明書および製品には、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

◎絵表示の例



感電注意

△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示する内容であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



警告



禁止

表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。また、容量不足の延長コードを使用したり、タコ足配線をしないでください。火災・感電のおそれがあります。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



電源プラグをコンセントから抜け

万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いや音をするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。販売店または取扱店にご連絡の上、修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



禁止

本機の上や近傍に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品など、薬品や水などの液体の入った容器または小さい金属物は置かないでください。液体が中に入ったり、金属物が中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。

警告

 <p>電源プラグをコンセントから抜け</p> <p>万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。</p>	 <p>電源プラグをコンセントから抜け</p> <p>万一、異物(金属片、水、液体など)が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。</p>
 <p>禁止</p> <p>本機後面のネジ端子の金属部分に手を触れないでください。電話が掛かってきたとき、ネジ端子に高い電圧がかかります。無理に手を触れると感電のおそれがあります。</p>  <p>感電注意</p>	 <p>電源プラグをコンセントから抜け</p> <p>雷が鳴り出したら安全のため、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。雷によっては、火災、感電のおそれがあります。</p>  <p>感電注意</p>
 <p>禁止</p> <p>本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となることがあります。内部の点検、整備、修理は販売店または取扱店にご依頼ください。</p>  <p>感電注意</p>	 <p>禁止</p> <p>電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加工したり、上に重い物をのせたり、他の機器の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードの上を敷物などで覆ってしまうと、それに気づかず重い物をのせてしまうことがありますのでご注意ください。電源コードが傷ついて、火災、感電のおそれがあります。</p>
 <p>禁止</p> <p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして大けがの原因となることがあります。</p>	 <p>禁止</p> <p>熱器具(ストーブなど)に電源コードを接触させたり、近づけたりしないでください。電源コードの被服が溶けて心線が露出し、火災、感電のおそれがあります。</p>
 <p>禁止</p> <p>押し入れ、本箱などの風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p>	 <p>禁止</p> <p>国外使用禁止 この製品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。</p> <p>This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.</p>
 <p>禁止</p> <p>水に濡れる様な場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。</p>	

⚠ 注意

 <p>電源プラグをコンセントから抜け</p> <p>長期間本機をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 電源プラグを抜くときに、電源コードを引っばると電源コードの心線が露出したり、断線したり、傷ついたりして、火災、感電の原因となることがあります。</p>	 <p>電源プラグをコンセントから抜け</p> <p>移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。 電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。</p>
 <p>注意</p> <p>本機の上に重いもの（最大積載重量 8 kg）や外枠からはみ出るようなものを置かないでください。 バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、故障やけがの原因となることがあります。</p>	 <p>一般注意</p> <p>修理の依頼は、販売店または取扱店へご依頼してください。 不完全な修理は、感電、火災、やけどなどの原因となることがあります。</p>
 <p>注意</p> <p>本機を直射日光が当たる場所などの異常に温度が高くなる場所、調理台や加湿器のそばなどの油煙、湿気、ホコリの多い場所、冷暖房機などの大型電機製品の近くに置かないでください。 故障および感電、火災の原因となることがあります。</p>	 <p>注意</p> <p>一年に一度くらいは内部の清掃を販売店または取扱店にご相談ください。 本機の内部にホコリがたまったまま、長い間使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。 特に、湿度の多くなる梅雨時の前に行うとより効果的です。 なお、清掃費用については販売店または取扱店へご相談ください。</p>
 <p>注意</p> <p>冬季などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、露が付き性能を十分に発揮できません。 設置した部屋を暖房する場合には、徐々に室温を上げてください。 結露が起こったら（結露の程度にもよりますが）、1～2時間そのまま放置して、本機を室温に保てば露が消え、使用できるようになります。 結露は、夏にクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起きることがあります。 その場合には設置場所を変えてください。</p>	 <p>注意</p> <p>機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書を良く読み、電源を切り、説明に従って接続してください。 また、接続は指定のコードを使用してください。</p>  <p>注意</p> <p>本機を壁に取り付けて使用する場合は、必ず同梱（指定）のネジを使って強度が十分ある壁に取り付けてください。 ネジが短いなど強度が足りないと落ちたりして、ケガや故障の原因となることがあります。</p>
 <p>一般注意</p> <p>電源プラグは奥まで確実に差し込み、長時間差し込んだまま放置しないでください。 電源プラグ部分にゴミや湿気等が付着し、ショートして火災や故障の原因となることがあります。</p>	 <p>一般注意</p> <p>本装置後面のネジ端子に接続するには、工事担任者の資格が必要です。 資格の無い方が接続されると感電や故障の原因となることがあります。 販売店または取扱店にご相談ください。</p>

お使いになる前に

メモ

この取扱説明書に『メモ』として記載されている内容は、本機を正しくお使いいただくために、守っていただきたいことや、知っておいていただきたいことが書かれています。

メモ

自動切替動作時に、電話をかけてきた相手には、こちらが電話に出なくても通話料金がかかります。

自動切替動作時に、電話がかかってきた場合、電話のベルが鳴り始めるまで多少時間がかかります。

自動切替動作時には、NTTの転送電話サービスおよび空いたらお知らせ159のサービスはご利用できません。

メモ

ピンク電話機(硬貨収納サービス)をご利用の場合、モデムダイヤルインサービスのご利用はできません。

NTTのキャッチホンサービスをご利用の場合、カラオケの通信に傷害が出る場合があります。

メモ

本機は夜間等に電話回線を利用して新しいデータを受信するために、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

また、カラオケ装置の連動コンセントは使用しないでください。

メモ

モデムダイヤルインサービスおよびナンバー・ディスプレイサービスを契約されると、別途サービス料金が必要となります。

メモ

本機をご使用にあたって、NTTのレンタル電話が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。

ご連絡いただいた日をもって、『機器使用料』は、不要となります。

詳しくは、局番なしの116番(無料)へお問い合わせください。

も く じ

頁

安全に正しくお使いいただくために	2～4
お使いになる前に	5
本機の特徴／付属品について	7
各部の名称と機能	
各部の名称	8～9
表示ランプ	10
設定スイッチ	11～15
接続方法	
電話回線の接続	16
電話回線の極性を調べる	17
電話回線の極性を合わせる	18
電話機の接続	19
ピンク電話機を接続する	20
カラオケ装置（モデム）の接続	21
電源プラグを差し込みます	22
動作概要 一回線サービス未加入時	23
動作概要 ナンバー・ディスプレイ加入時	24
動作概要 モデムダイヤルイン加入時	25
電話の操作を覚えましょう	
電話をかける	26
電話を受ける（自動切替あり）	27
電話を受ける（自動切替なし）	28
ナンバー・ディスプレイサービスを利用する	29
モデムダイヤルインサービスを利用する	30～33
便利な機能を利用する	
電話発信優先『あり／なし』設定	34
電話番号非通知おことわり『あり／なし』設定	35
電話呼び出し回数制限『あり／なし』設定	36
ピンク電話機『あり／なし』設定	37
自動切替時間『4秒～16秒』設定	38
#1端子モデム『あり／なし』設定	39
故障かな？と思ったら	40
主な仕様	41
アフターサービスについて	42

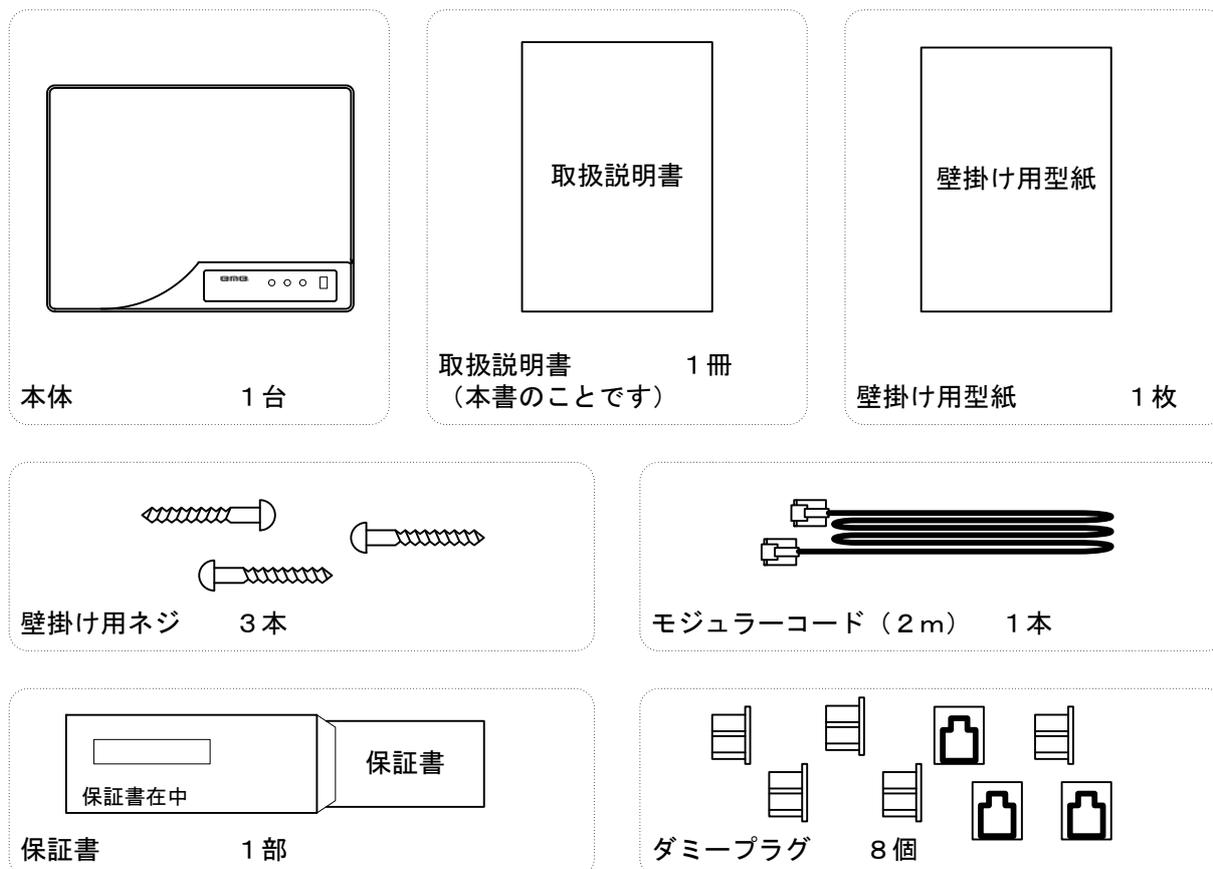
本機の特徴／付属品について

◎本機の特徴

- 回線自動切替
電話かカラオケの配信かを、自動的に切替て新曲データをカラオケ装置につなぎます。
- ナンバー・ディスプレイ対応
#1端子にナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続できます。
- 『電話番号非通知』おことわり機能
NTTのナンバー・リクエストに加入せずに、本機がナンバー・リクエストを代わりに行います。
- モデムダイヤルイン切替
ダイヤルイン番号を追加契約することにより、ダイヤルイン番号での切替ができます。

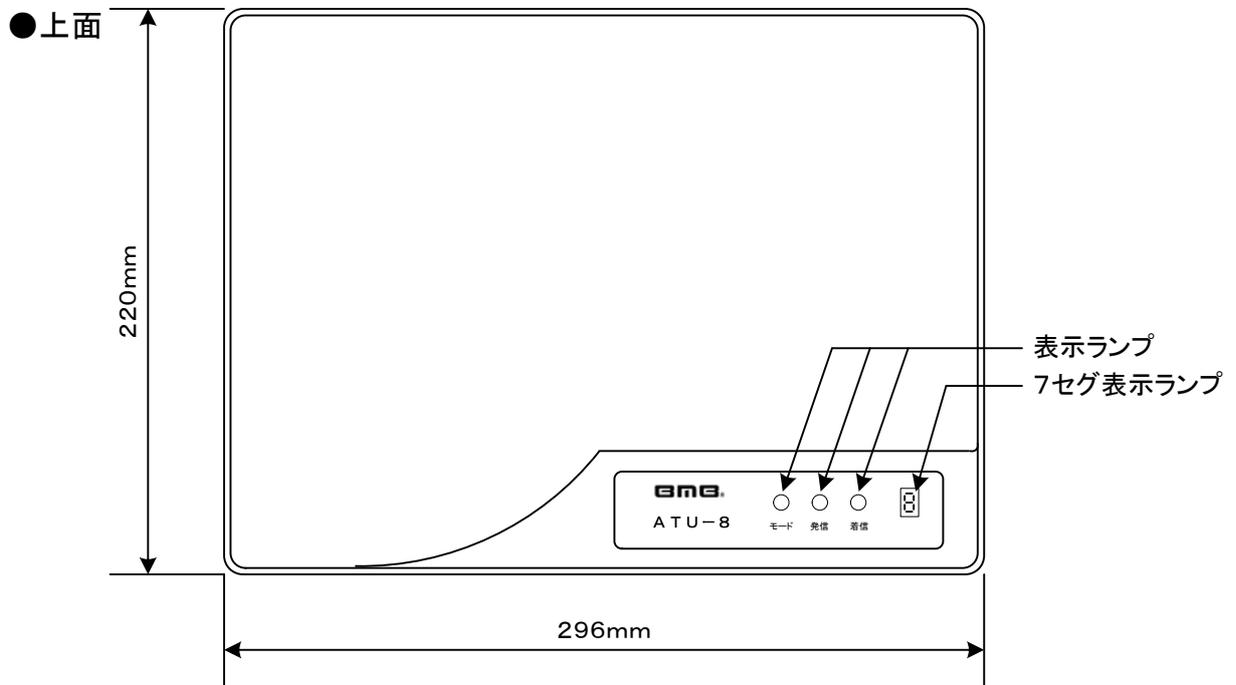
◎付属品について

本機には、つぎのものが同梱されています。
本体と下記の付属品がそろっているか、必ず確認してください。
万一、不足している場合や、違ったものが入っていた場合は、お買い求めの販売店または取扱店までお知らせください。

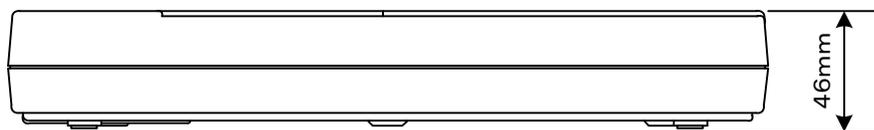


各部の名称と機能

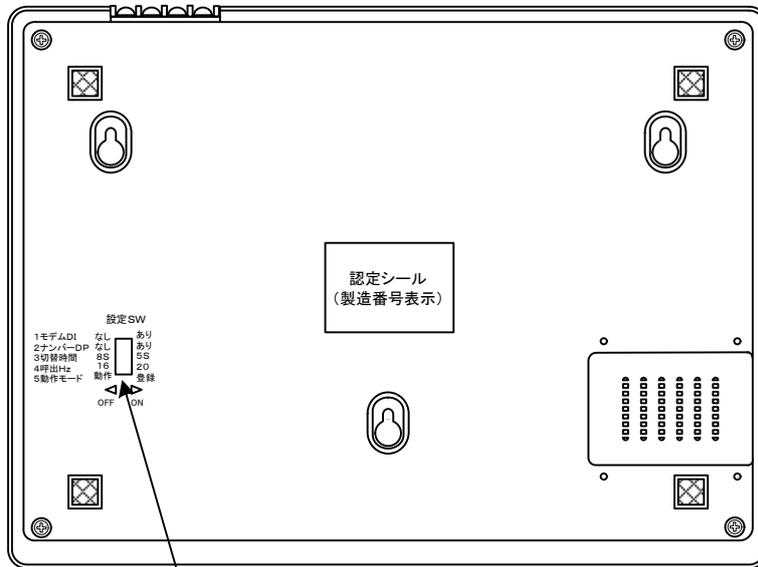
◎各部の名称



●前面



●底面



設定スイッチ

#2モジュラーコネクタ

#3モジュラーコネクタ

#4モジュラーコネクタ

#5モジュラーコネクタ

#6モジュラーコネクタ

#7モジュラーコネクタ

#8モジュラーコネクタ

●後面



#1モジュラーコネクタ

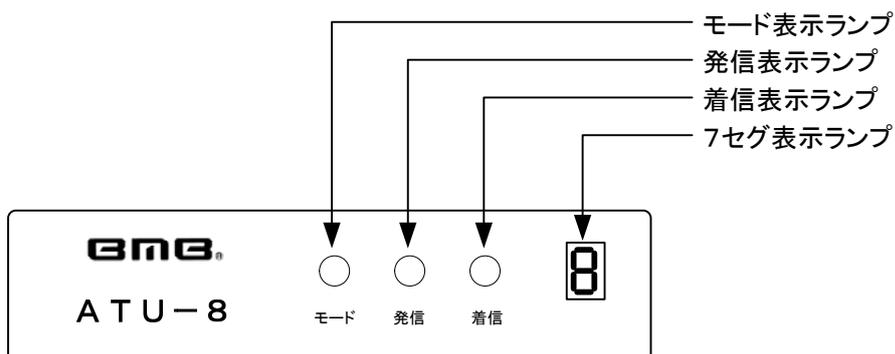
#1ネジ端子

回線ネジ端子

回線モジュラーコネクタ

電源プラグ

◎表示ランプ

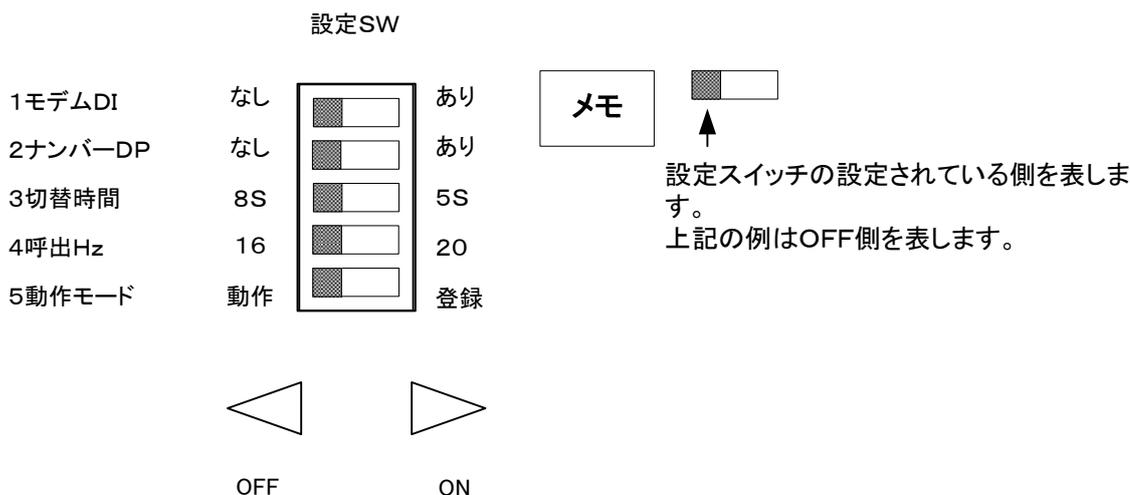


●主なランプの表示例

状 態	ラ ン プ			
	モード	発信	着信	7セグ
自動切替モード待機中	●	○	○	5
ダイヤルインモード待機中	●	○	○	1
ナンバー・ディスプレイ対応モード待機中 (ダイヤルイン契約無し)	●	○	○	2
ナンバー・ディスプレイ対応モード待機中 (ダイヤルイン契約有り)	●	○	○	3
登録モード待機中	⊖	⊖	⊖	1 点滅
#1端子呼び出し中	○	○	⊖	1 点滅
#1端子呼び出し応答中	○	○	●	1
#8端子呼び出し中	○	○	⊖	8 点滅
#8端子呼び出し応答中	○	○	●	8
#2端子発信中	○	●	○	2
自動切替信号受信中	○	○	⊖	9 点滅
ナンバー・ディスプレイ信号受信中	○	○	⊖	d 点滅
ダイヤルイン番号等の登録中	⊖	○	○	P 点滅
ダイヤルイン番号等の登録操作エラー	⊖	○	○	E 点滅

メモ ● 点灯 ○ 消灯 ⊖ を表示します。 点滅

◎設定スイッチ



● 設定スイッチ機能一覧

設定SW	設 定 内 容	OFF側	ON側
1	モデムダイヤルイン『あり／なし』設定	なし	あり
2	ナンバー・ディスプレイ『あり／なし』設定	なし	あり
3	自動切替時間『8秒／5秒』設定	8秒	5秒
4	呼出周波数『16Hz／20Hz』設定	16Hz	20Hz
5	動作モード『動作モード／登録モード』設定	動作	登録

は工場出荷時の設定

● 設定SW1 :モデムダイヤルイン

あり :モデムダイヤルインサービスの工事(NTT)が完了したら『あり』に設定します。

【なし】:モデムダイヤルインサービス未加入は『なし』に設定します。

● 設定SW2 :ナンバー・ディスプレイ

あり :ナンバー・ディスプレイ対応電話機を#1端子に接続する場合『あり』に設定します。

【なし】:ナンバー・ディスプレイサービス未加入は『なし』に設定します。

メモ

Lモードサービスを契約されてLモード対応の電話機を接続される場合は、ナンバー・ディスプレイサービス未加入でも必ず『あり』に設定してください。

● 設定SW3 :自動切替時間

5秒 :自動切替時の切替時間(#1～#8検出時間)を『5秒』に設定します。

【8秒】:自動切替時の切替時間(#1～#8検出時間)を『8秒』に設定します。

メモ

『5秒』に設定の場合、切替時間を4秒～16秒に変更できます。
変更の方法は(38頁参照)

● 設定SW4 :呼出周波数

20Hz :自動切替時の各々の端子を呼び出すベル信号の周波数を『20Hz』に設定します。

【16Hz】:自動切替時の各々の端子を呼び出すベル信号の周波数を『16Hz』に設定します。

メモ

コードレス電話機等を接続した場合等で、親機のベルは鳴るが子機のベルが鳴らない場合等に設定を変えてください。

● 設定SW5 :動作モード

登録 :モデムダイヤルインのダイヤルイン番号の登録や確認時に『登録』に設定します。

【動作】:自動切替等の動作モード

メモ

#1端子に接続した電話機からトーンダイヤルで登録、確認、消去等の操作を行います。
パルスダイヤル(10pps・20pps)では登録等の操作はできません。

メモ

登録モードの待機中に本機のバージョンを7セグランプに表示します。



点滅

表示例:Ver1

メモ

登録モードで#1端子に接続した電話機の受話器を上げると、回線の極性を7セグランプに表示します。

L1が(+)の場合



L1が(-)の場合



オープンまたはショートの場合



●ソフト設定スイッチ機能一覧

登録アドレス	設定内容	0	1
*42#	電話発信優先『あり／なし』設定	なし	あり
*43#	電話番号非通知おことわり『あり／なし』設定	なし	あり
*45#	電話呼び出し回数制限『あり／なし』設定	なし	あり
*46#	ピンク電話機『あり／なし』設定 (発信先がフリーダイヤルの場合『なし』でも使用できます。)	なし	あり
*47#	自動切替時間『4秒～16秒』設定 0:4秒 1:5秒 2:6秒 3:7秒 4:8秒 5:9秒 6:10秒 7:12秒 8:14秒 9:16秒	5秒	
*48#	#1モデム『あり／なし』設定 (『なし』でも#1端子にカラオケ装置(モデム)を接続できません。)	なし	あり

は工場出荷時の設定

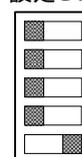
メモ

ソフト設定スイッチ(ソフトSW)を設定するには、#1端子にトーンダイヤルの発信できる電話機を接続します。

メモ

設定スイッチの5を『登録モード』(ON側)に設定します。
#1端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

設定SW



5『ON』

●ソフトSW(*42#):電話発信優先『あり／なし』設定

あり : #2端子～#8端子に接続したカラオケ装置(モデム)の通信中に、#1端子に接続した電話機からの発信を優先させます。

【なし】: #2端子～#8端子に接続したカラオケ装置(モデム)の通信中は、#1端子に接続した電話機からの発信を禁止します。

メモ

『あり』に設定すると、カラオケ装置(モデム)の通信中に#1端子に接続した電話機の手話器を上げる(この時点でカラオケ装置(モデム)と回線を切り離します)と“ツーツ ツーツ”という話し中の音が聞こえます。手話器を下ろして、約3秒ほど間をおいて再度手話器を上げてください。
“ツー”という発信音が聞こえて、電話をかけることができます。
設定の方法は(34頁参照)

● ソフトSW(*43#):電話番号非通知おことわり『あり/なし』設定

あり :ナンバー・ディスプレイ『あり』設定の場合、電話をかけてきた相手が電話番号非通知4ダイヤル)でかけてきた場合に、電話を呼び出さずに“申し訳ございませんが電話番号の前に イチ、ハチ、ロク をつけておかけ直してください”のメッセージを流して回線を切ります。 (18)

【なし】:ナンバー・ディスプレイ『あり』設定の場合、電話をかけてきた相手が電話番号非通知4ダイヤル)でかけてきた場合に、電話を呼び出します。 (18)

メモ

NTTのナンバー・リクエストサービスを申し込まれると、カラオケの配信ができなくなります。
お客様がナンバー・リクエストサービスをご希望の場合に『あり』に設定するとNTTのナンバー・リクエストサービスに加入せずに、本機が擬似的にナンバー・リクエストサービスを行います。
設定の方法は(35頁参照)

● ソフトSW(*45#):電話呼び出し回数制限『あり/なし』設定

あり :自動切替動作時に、電話(#1端子)を10回呼び出しても電話に出られない(受話器を上げない)場合、“呼び出しましたが近くにおりません、申し訳ございませんがおかけ直してください。”のメッセージを流して回線を切ります。

【なし】:自動切替動作時に、電話(#1端子)をかけてきた相手が切るまで呼び続けます。

メモ

自動切替動作時には、お客様が電話に出られない場合でも、相手の方に通話料がかかります。『あり』に設定すれば、電話を10回呼び出しても電話に出られない(受話器を上げない)場合メッセージを流して回線を切りますので、相手の方にかかる通話料が少なくてすみます。
設定の方法は(36頁参照)

● ソフトSW(*46#):ピンク電話機『あり/なし』設定

あり :ピンク電話機を接続する場合『あり』に設定します。

【なし】:ピンク電話機を接続しない場合『なし』に設定します。

メモ

発信先がフリーダイヤルの場合『なし』でも使用できます。

メモ

『あり』に設定の場合、#2端子～#8端子のカラオケ装置(モデム)発信時に、硬貨収納信号(課金パルス)を除去します。
設定の方法は(37頁参照)

● ソフトSW(*47#):自動切替時間『4秒～16秒』設定

設定SW3:自動切替時間『5秒』設定の場合に、自動切替時間を『4秒～16秒』に設定できません。

設定範囲は

0:4秒	1:5秒	2:6秒	3:7秒	4:8秒
5:9秒	6:10秒	7:12秒	8:14秒	9:16秒

です。

メモ

自動切替動作時の切替信号が送られてくるのを待つ、切替時間を設定できます。設定SW3の設定範囲『8秒／5秒』で対応できない場合に設定します。設定の方法は(38頁参照)

● ソフトSW(*48#):#1モデム『あり／なし』設定

あり :自動切替動作時に、切替信号が送られてこない場合、自動切替時間の経過後、電話(#1端子)を呼び出さずに回線を切ります。

【なし】:自動切替動作時に、切替信号が送られてこない場合、自動切替時間の経過後、電話(#1端子)を呼び出します。

メモ

#1端子にカラオケ装置(モデム)を接続して『なし』でも使用できます。設定の方法は(39頁参照)

接続方法

◎電話回線の接続

メモ

本機に接続できる回線は、一般加入者回線です。（本機に接続可能な回線数は1本です。）
ISDN回線やADSL回線には、直接接続することはできません。
また、ホームテレホンやビジネスホンの内線に接続することはできません。
モデムダイヤルインサービス、ナンバー・ディスプレイサービスを契約されると、別途サービス料が必要になります。

メモ

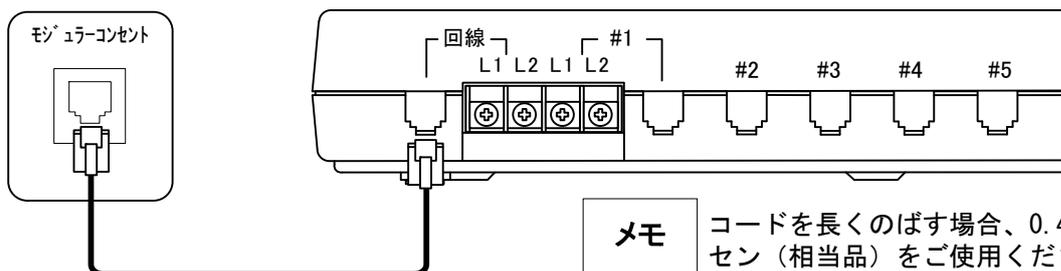
電話回線の極性を正しく合わせないと、正常に動作しない機器があります。
（本機の回線端子のL1に電話回線の+48V側を接続してください。）
ピンク電話を接続する場合、必ず電話回線の極性を合わせてください。
電話回線の極性を正しく合わせないと、正常に動作しません。

メモ

電話回線は本機の回線モジュラーコネクタ、または回線ネジ端子のどちらかに接続してください。
複数の回線を同時に接続した場合、正常に動作しません。

● 電話回線がモジュラーコンセントの場合

付属のモジュラーコードを、カチッと音がするまで差し込む。



必ず付属のモジュラーコードをご使用ください。

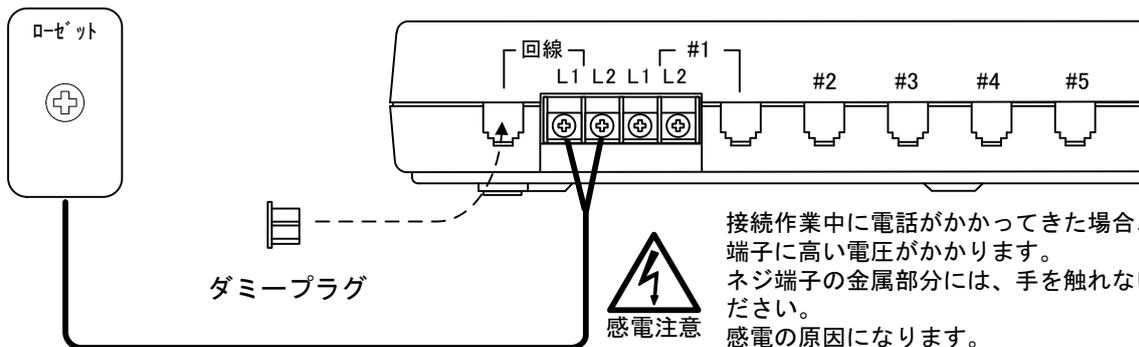
メモ

コードを長くのばす場合、0.4-1Pツイウチセン（相当品）をご使用ください。
市販の長いモジュラーコードでは、カラオケの配信などの通信に障害を及ぼすことがあります。

● 電話回線がローゼット（ネジ止め）の場合

メモ

ネジ端子に接続するには、工事担任者の資格が必要です。
販売店または取扱店にご相談ください。



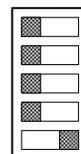
接続作業中に電話がかかってきた場合、ネジ端子に高い電圧がかかります。
ネジ端子の金属部分には、手を触れないでください。
感電の原因になります。

◎電話回線の極性を調べる

メモ

設定スイッチの5を『登録モード』（ON側）に設定します。

設定SW



5『ON』

メモ

登録モードにした後、電話機を受話器を上げるまで7セグ表示ランプに本機のバージョンを数字の1～9・アルファベットのA～Fで表示します。

バージョン表示例

モード



発信



着信



点滅

1

#1端子に電話機を接続する。

2

受話器を上げる。

3

L1が（+）の場合：7セグ表示ランプに が表示される。

L1が（-）の場合：7セグ表示ランプに が表示される。

ショート、オープンの場合：7セグ表示ランプに が表示される。

メモ

L1が（-）の（7セグ表示ランプに『L』が表示された）場合は、回線が逆に接続されます、回線のL1とL2を入れ替えてください。

ショート、オープンの（7セグ表示ランプに『O』が表示された）場合は、回線が短絡（ショート）または断線（オープン）しています。
回線のモジュラーコードまたは回線の屋内配線を調べてください。

4

受話器を下ろす。

メモ

回線の極性を調べ終わったら、設定スイッチ5を『動作モード』（OFF側）に設定してください。

◎電話回線の極性を合わせる

メモ

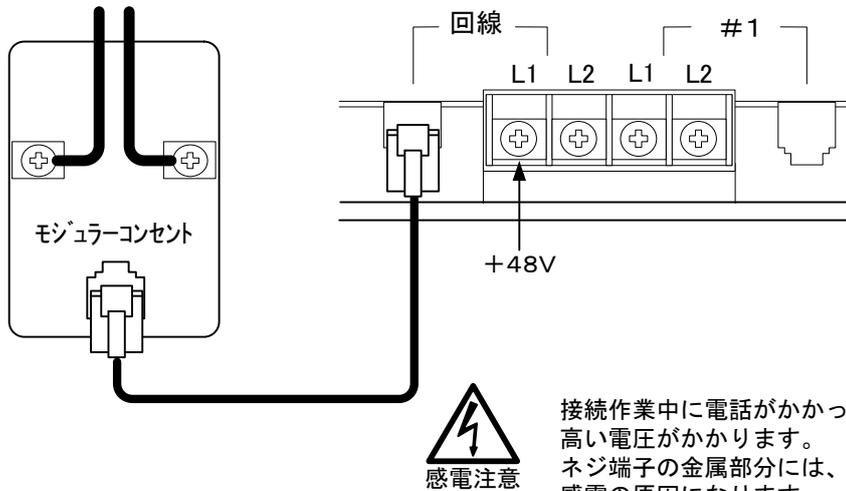
電話回線の極性を調べた結果が逆の場合は、下記に示す方法で回線の極性を合わせてください。
ピンク電話機を接続される場合は、極性は必ず合わせてください。

メモ

ネジ端子に接続するには、工事担任者の資格が必要です。
販売店または取扱店にご相談ください。

● 電話回線がモジュラーコンセントの場合

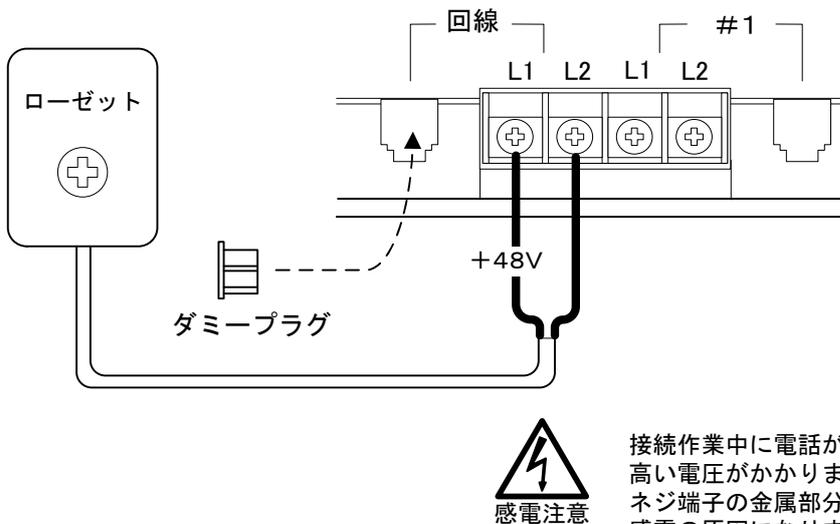
本機の回線ネジ端子のL1が+48V側になるよう、モジュラーコンセント内のネジ接続を合わせる。



接続作業中に電話がかかってきた場合、ネジ端子に高い電圧がかかります。
ネジ端子の金属部分には、手を触れないでください。
感電の原因になります。

● 電話回線がローゼット（ネジ止め）の場合

ローゼットからの電話回線を直接、本機の回線ネジ端子のL1に+48V側を合わせて接続する。

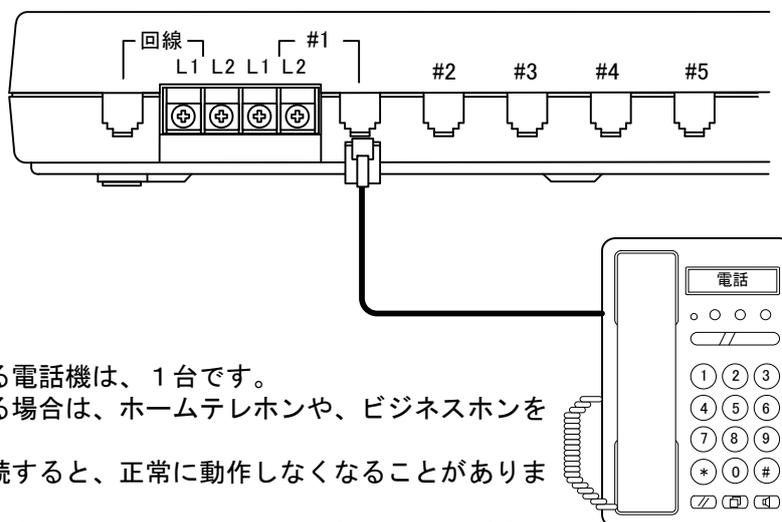


接続作業中に電話がかかってきた場合、ネジ端子に高い電圧がかかります。
ネジ端子の金属部分には、手を触れないでください。
感電の原因になります。

◎電話機の接続

● 電話機のコードがモジュラープラグの場合

電話機のモジュラープラグを、カチッと音がするまで差し込む。



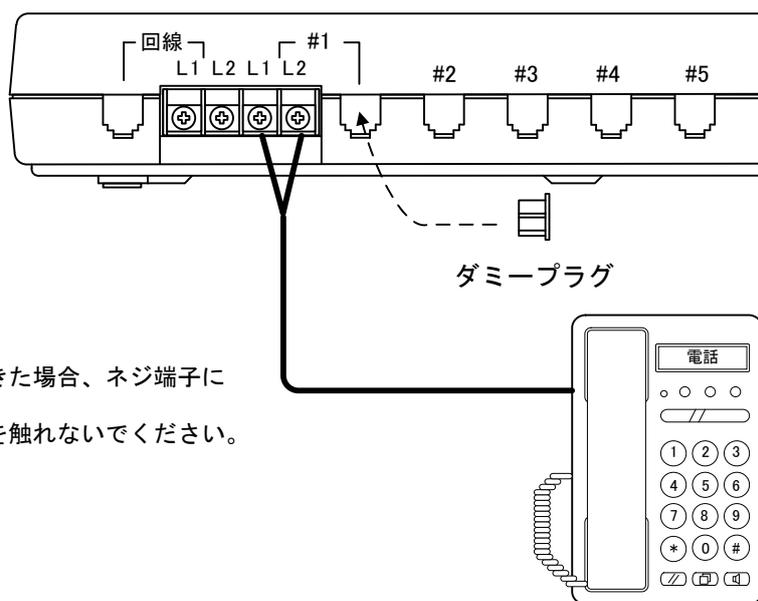
メモ

本機の#1端子に接続できる電話機は、1台です。
電話機を複数台お使いになる場合は、ホームテレホンや、ビジネスホンをご利用ください。
無理に複数台の電話機を接続すると、正常に動作しなくなることがあります。
また、コードを長くのばす場合、0.4-1Pツイウチセン（相当品）をご使用ください。
市販の長いモジュラーコードでは、正常に動作しないことがあります。

● 電話機のコードがネジ止め式の場合

メモ

ネジ端子に接続するには、工事担任者の資格が必要です。
販売店または取扱店にご相談ください。



接続作業中に電話がかかってきた場合、ネジ端子に高い電圧がかかります。
ネジ端子の金属部分には、手を触れないでください。
感電の原因になります。

◎ピンク電話機を接続する

#1ネジ端子のL1側にピンク電話機の回線コードの白色線を接続する。

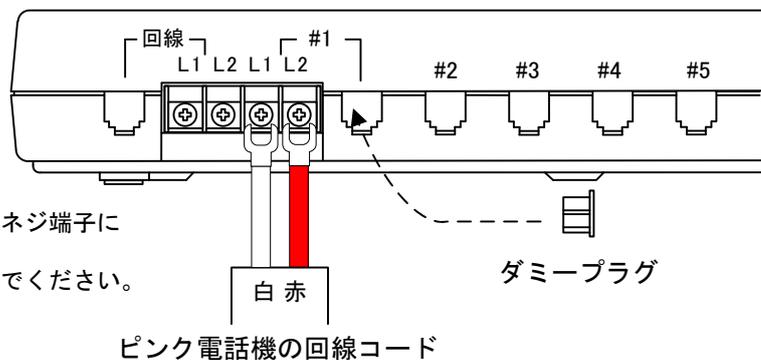
#1ネジ端子のL2側にピンク電話機の回線コードの赤色線を接続する。

メモ

回線コードが3本の場合、残りの1本は接続せず、配線が短絡しないように絶縁テープなどで保護してください。



接続作業中に電話がかかってきた場合、ネジ端子に高い電圧がかかります。ネジ端子の金属部分には、手を触れないでください。感電の原因になります。



メモ

ネジ端子に接続するには、工事担任者の資格が必要です。販売店または取扱店にご相談ください。

メモ

ピンク電話機の接続が完了したら、発信と着信の動作確認を行ってください。

発信の確認は10円硬貨を入れて電話がかけられることを確かめてください。
※キーを差し込んでの発信や、0120等のフリーダイヤルでは正しい確認ができません。

メモ

ピンク電話機を接続したら、ピンク電話機『あり/なし』設定(ソフトSW)を『あり』に設定してください。設定の方法は(37頁参照)

#1端子以外の端子(#2端子～#8端子)から発信する場合、硬貨収納信号(課金パルス)を除去します。

発信先がフリーダイヤルの場合『なし』でも使用できます。

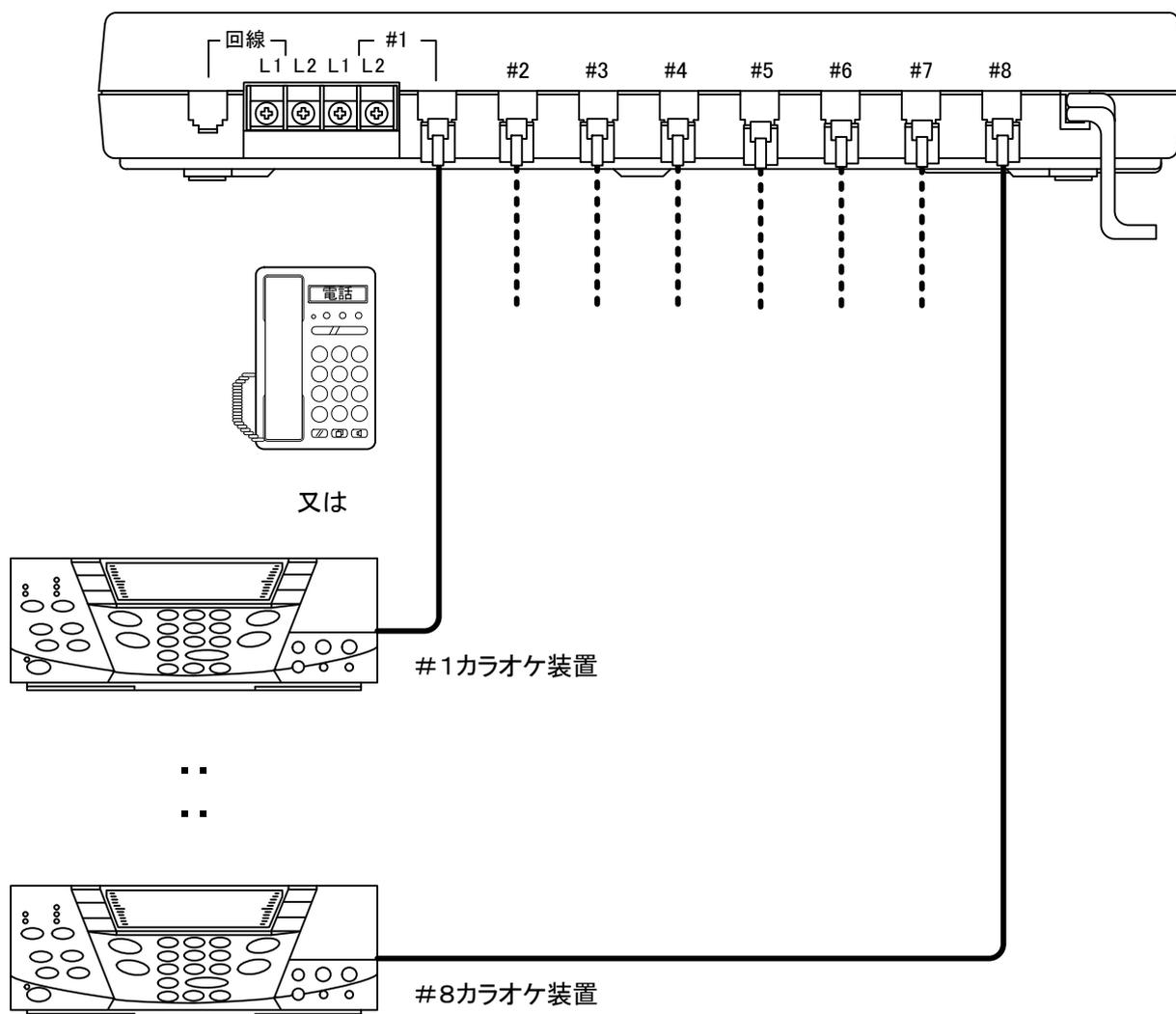
メモ

カード式ピンク電話機およびショップ電話でプリンター使用モードでのご使用はできません。

メモ

ピンク電話機を接続した場合、モデムダイヤルインサービスはご利用できません。

◎カラオケ装置（モデム）の接続



メモ

カラオケ装置（モデム）の接続コードを長くのばす場合、0.4-1Pツイウチセン（相当品）をご使用ください。市販の長いモジュラーコードでは、カラオケの配信などの通信に傷害を及ぼすことがあります。

メモ

#1端子にカラオケ装置（モデム）を接続する場合、#1モデム『あり／なし』設定（ソフトSW）を『あり』に設定してください。
設定の方法は（39頁参照）

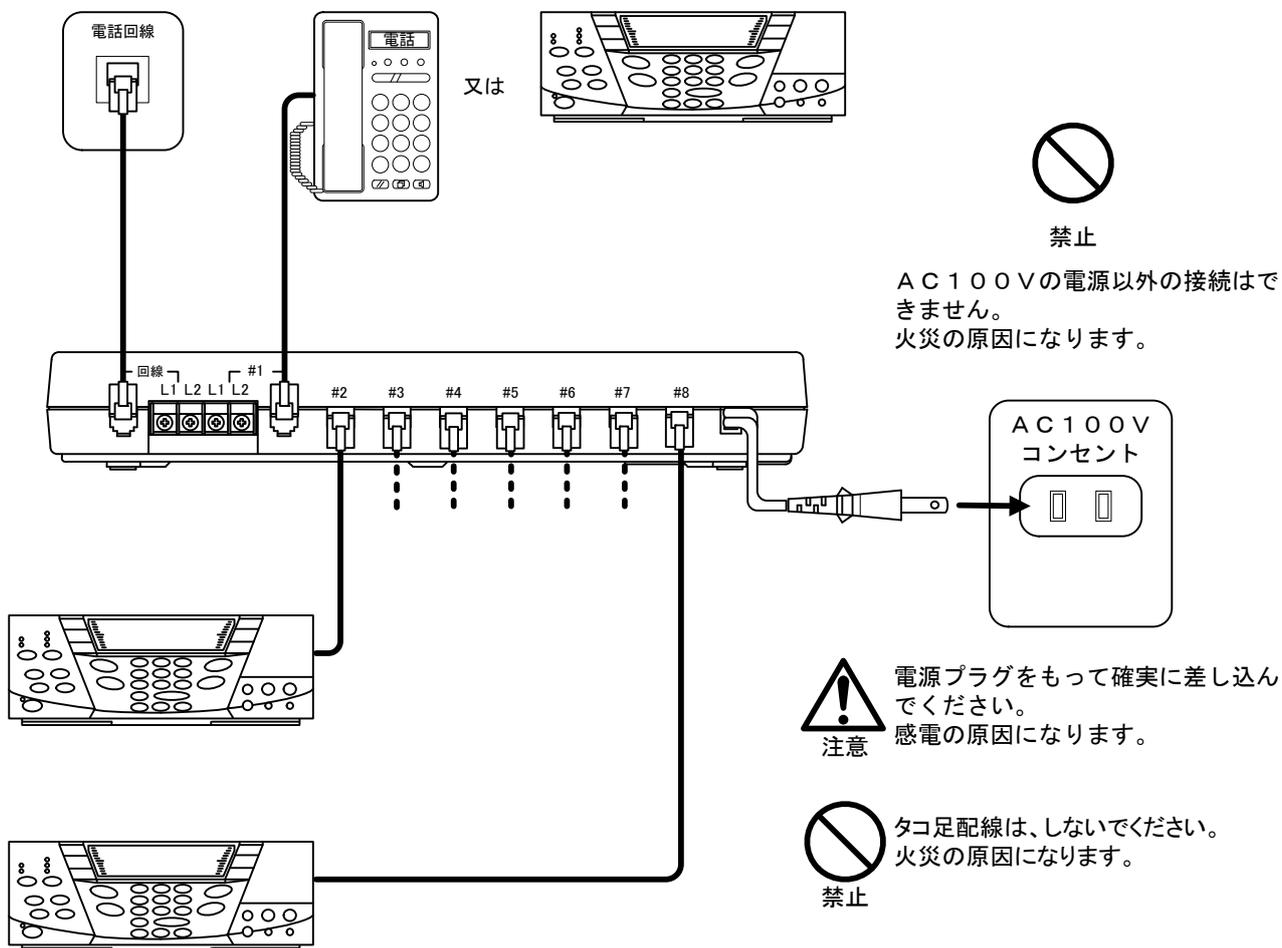
『なし』でも#1端子にカラオケ装置（モデム）を接続できます。

メモ

接続できるカラオケ装置（モデム）は#1端子を含めて最大8台です。

◎電源プラグを差し込みます

電話回線、電話機、カラオケ装置（モデム）の接続が完了したら、電源プラグをもってAC100Vコンセントに差し込む。



メモ

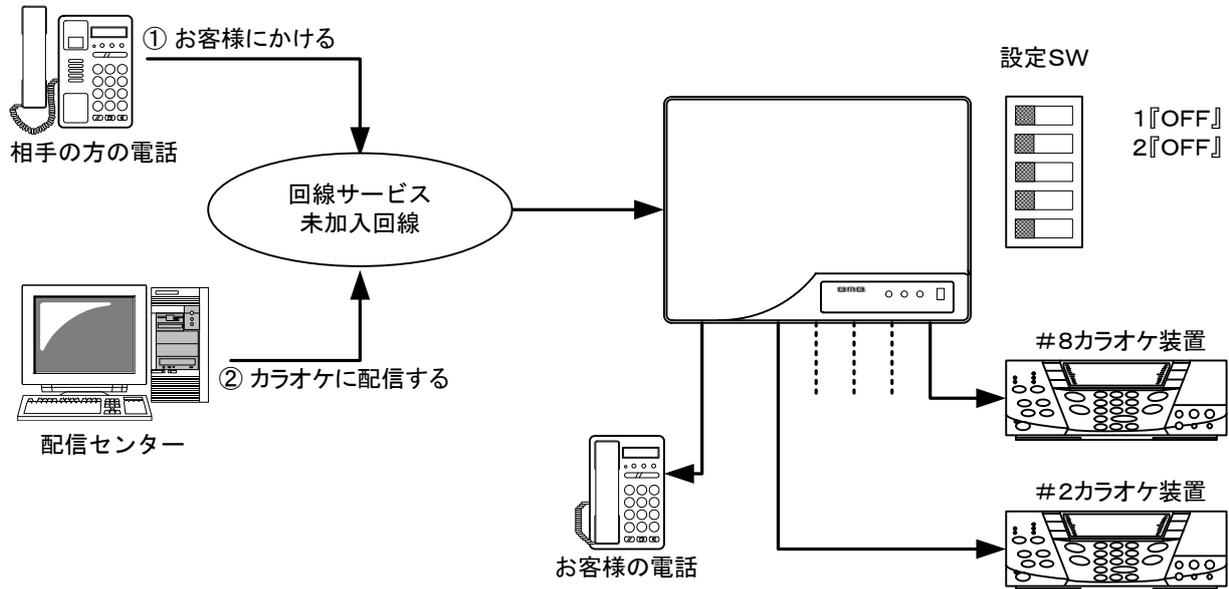
停電時は、自動切替等の動作はしません。

電話回線と#1端子が接続され、全て（カラオケの配信も）#1端子を呼び出します。

また、#2端子から#8端子は使用できなくなります。

動作概要 一回線サービス未加入時

- ナンバー・ディスプレイやLモードサービスに入っていない場合



◎動作概要

電話がかかってくると、本機は仮着信(受話器を上げる動作)をします。
(相手の方には、この時点で通話料がかかります。)

配信センターから切替信号が送られてくるか待ちます。
(カラオケの配信か、電話からの発信かを待ちます。)

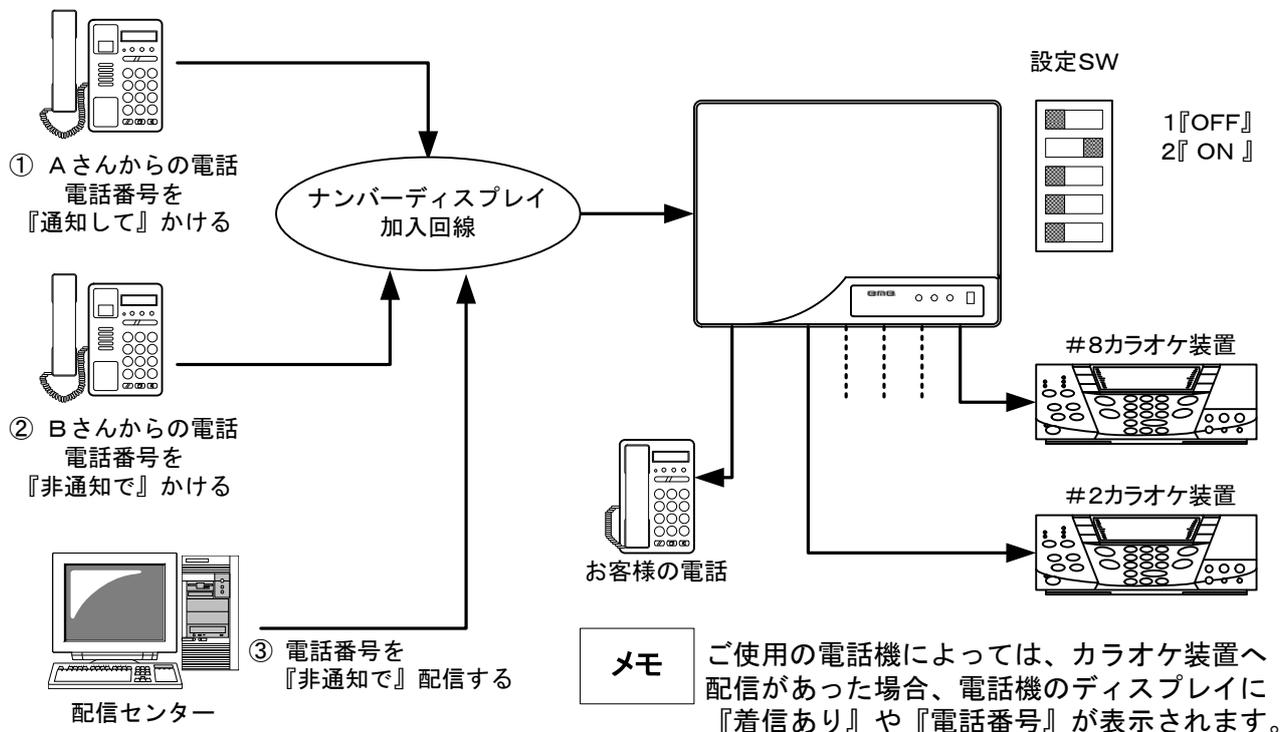
- ① 相手が電話からの発信の場合(切替信号がこない場合)、自動切替時間の経過後、電話を呼び出します。
- ② 配信センターから切替信号が送られてきた場合、指定の端子を呼び出します。

メモ

お客様が電話にでられない場合でも、相手の方には通話料がかかります。

動作概要 —ナンバー・ディスプレイ加入時—

- ナンバー・ディスプレイやLモードサービスに入っている場合



◎動作概要

- 電話番号を『通知して』かけてきた場合 (Aさんからの電話)

- ① 本機は電話からの発信とみなし、電話(#1端子)を直接呼び出します。

メモ お客様が電話にでられない場合は、相手の方に通話料はかかりません。

- 電話番号を『非通知で』かけてきた場合 (Bさんからの電話)

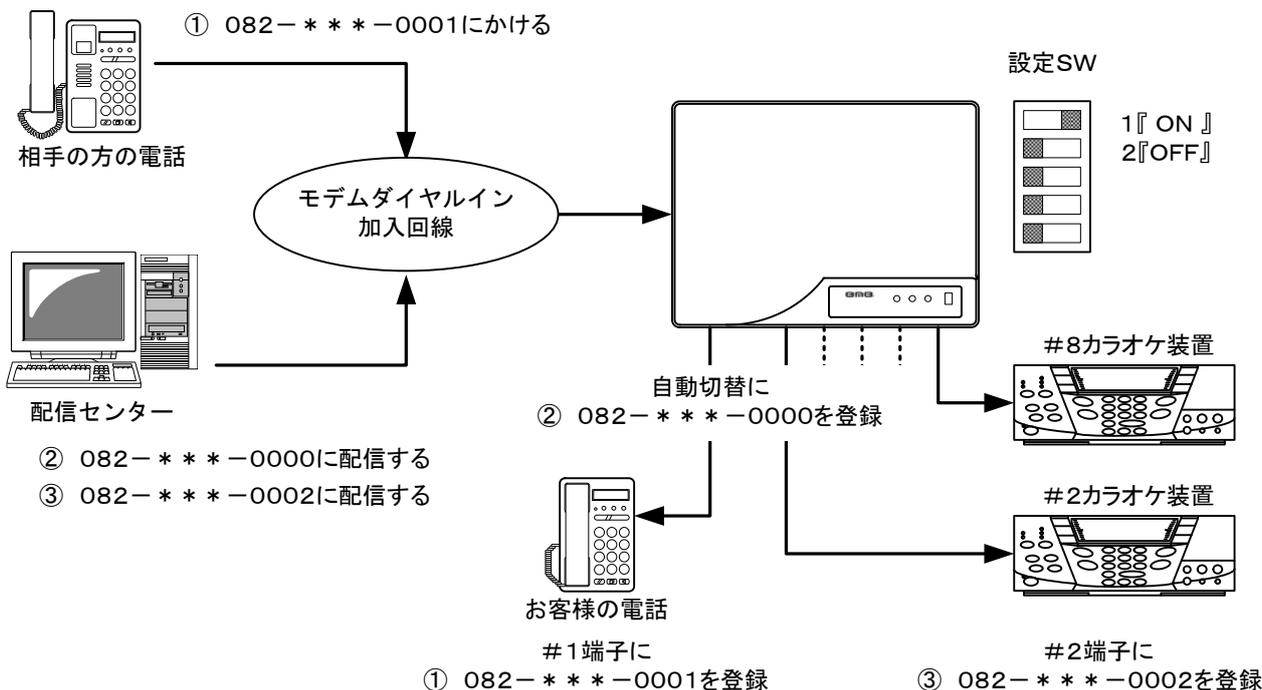
電話がかかってくると、本機は仮着信(受話器を上げる動作)をします。
(相手の方には、この時点で通話料がかかります。)

配信センターから切替信号が送られてくるか待ちます。
(カラオケの配信か、電話からの発信かを待ちます。)

- ② 相手が電話からの発信の場合(切替信号がこない場合)、自動切替時間の経過後、電話を呼び出します。
- ③ 配信センターから切替信号が送られてきた場合、指定の端子を呼び出します。

メモ お客様が電話にでられない場合でも、相手の方に通話料がかかります。

動作概要 —モデムダイヤルイン加入時—



◎動作概要

- #1端子のダイヤルイン番号(082-***-0001)にかかってきた場合

① 本機は電話への着信とみなし、電話(#1端子)を直接呼び出します。

メモ

お客様が電話にでられない場合は、相手の方に通話料はかかりません。

- 自動切替のダイヤルイン番号(082-***-0000)にかかってきた場合

電話がかかってくると、本機は仮着信(受話器を上げる動作)をします。

配信センターから切替信号が送られてくるのを待ちます。
(どのカラオケ装置への配信かを待ちます。)

② 配信センターから切替信号が送られてきた場合、指定の端子を呼び出します。
切替信号がこない場合、自動切替時間の経過後、回線を切ります。

- #2端子のダイヤルイン番号(082-***-0002)にかかってきた場合

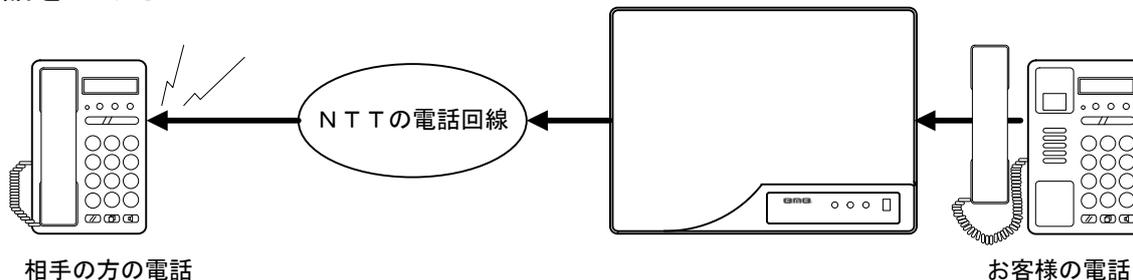
③ 本機は#2カラオケ装置への配信とみなし、#2端子を直接呼び出します。

メモ

配信方式の異なるカラオケ装置を混在して設置している場合等、配信したいカラオケ装置をダイヤルインのダイヤルイン番号で直接呼び出す事ができます。

電話の操作を覚えましょう

◎電話をかける



- 1 受話器を上げて、“ツー”という音を確認する。
- 2 電話番号をダイヤルし、相手の方が電話に出たらお話しください。
- 3 お話しがすんだら、受話器をおろす。

メモ

①の操作で、受話器から“ツーッ ツーッ”という話し中の音が聞こえるときは、カラオケ装置の通信中なので、受話器をおろしてください。

電話発信優先『あり／なし』設定（ソフトSW）を『あり』に設定している場合、カラオケ装置の通信を中止します、約3秒経ってから受話器を上げると電話の発信ができます。
設定の方法は（34頁参照）

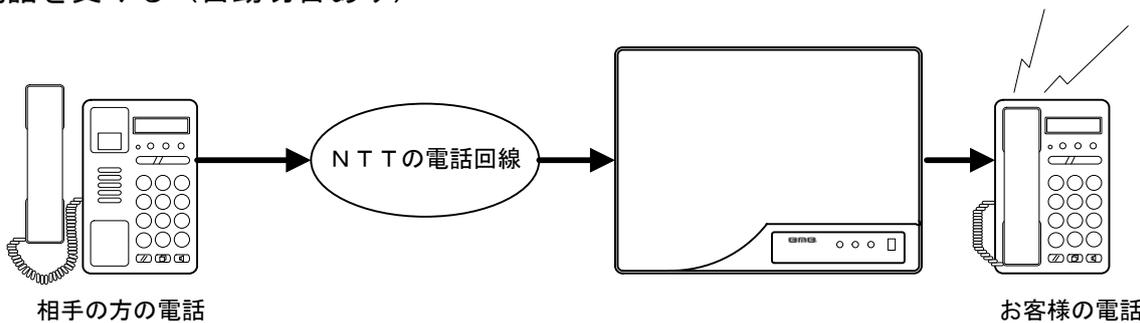
電話発信優先『なし』に設定されている場合は、カラオケ装置の通信が終わってから、かけ直してください。

メモ

③の操作で、お客様が受話器をおろして約2秒経ってから、本機はお話しが終わったと判断します。

（お話しが終わって続けて電話をかける場合は、約2秒ほど間をおいてください。）

◎電話を受ける（自動切替あり）



メモ

（自動切替あり）とは、モデムダイヤルインやナンバー・ディスプレイに加入されていない場合かナンバー・ディスプレイサービスを契約されてて、相手の方が電話番号を『非通知』でかけてきた場合等です。

1

電話がかかってきたら、本機が仮着信（受話器を上げる動作）する。相手の方には、“ツルルルル”という呼び出し音が聞こえる。（相手の方には、この時点から通話料がかかります。）

自動切替時間（8秒）中は、電話のベルが鳴りません。相手が電話（カラオケの配信以外）の場合、自動切替時間の経過後、電話（#1端子）を呼び出す。

2

電話のベルが鳴る。

電話呼び出し回数制限『あり/なし』設定（ソフトSW）を『あり』に設定している場合、電話を10回呼び出しても、電話に出られない（受話器を上げない）と、“呼び出しましたが近くにおりません、申し訳ございませんがおかけ直してください。”を2回流して回線を切る。設定の方法は（36頁参照）

3

受話器を上げて、お話しください。

4

お話しがすんだら、受話器をおろす。

メモ

お客様が電話にでられない場合でも、相手の方に通話料がかかります。

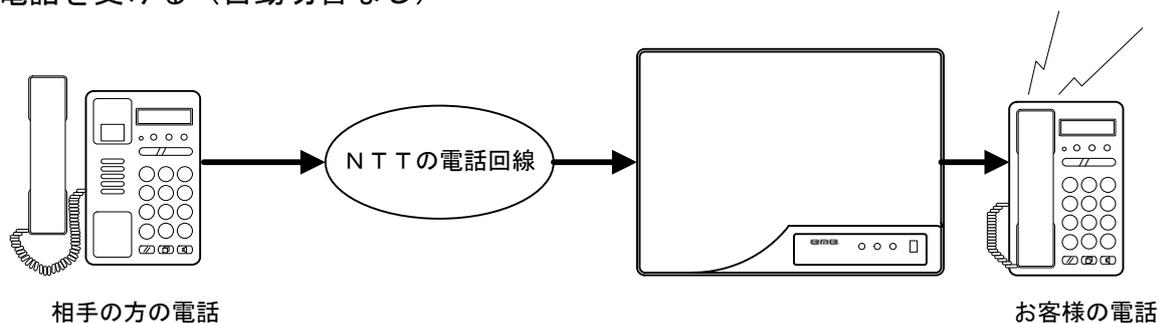
メモ

①と②の動作中に相手の方が電話の受話器をおろした場合、NTTの回線から相手の方が電話の受話器をおろしたという信号を本機が認識し、その時点で動作を中断します。

メモ

お客様が受話器をおろして約2秒経ってから、本機はお話しが終わったと判断します。（お話しが終わって続けて電話をかける場合は、約2秒ほど間をおいてください。）

◎電話を受ける（自動切替なし）



メモ

（自動切替なし）とは、モデムダイヤルインのダイヤルイン番号で直接電話を呼び出した場合、またはナンバー・ディスプレイサービスを契約されて、相手の方が電話番号を『通知して』かけてきた場合等です。

①

電話のベルが鳴る。

②

受話器を上げて、お話しください。
（相手の方には、この時点から通話料がかかります。）

③

お話しがすんだら、受話器をおろす。

メモ

お客様が電話にでられない場合は、相手の方に通話料はかかりません。

メモ

ご使用の電話機によっては、ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合、カラオケへの配信があった場合、電話機のディスプレイに『着信あり』や『電話番号』が表示されます。

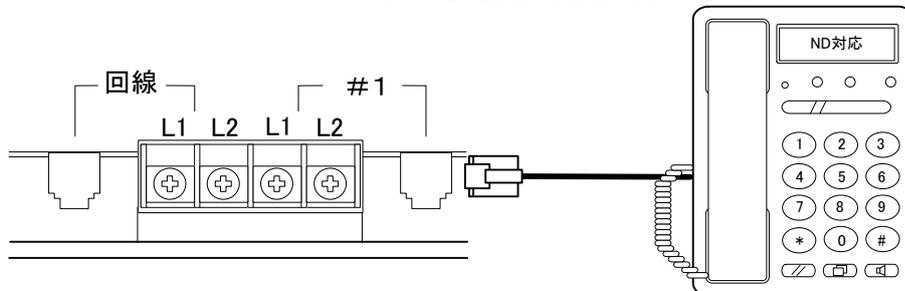
メモ

お客様が受話器をおろして約2秒経ってから、本機はお話しが終わったと判断します。
（お話しが終わって続けて電話をかける場合は、約2秒ほど間をおいてください。）

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

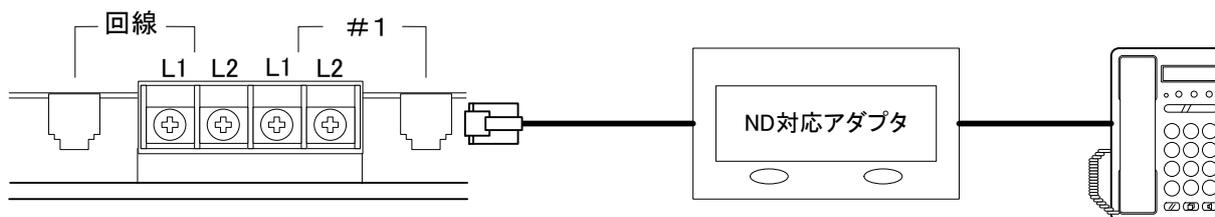
#1端子にナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続できます。
相手の方が電話番号を通知してかけてきた場合、電話(#1端子)を直接呼び出します。

● ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続する場合



- ① 本機の#1端子にナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続する。
- ② 電話機をナンバー・ディスプレイのサービスが利用できる様に設定する。
(設定方法は、ご使用の電話機の取扱説明書を参照ください。)

● ナンバー・ディスプレイ対応アダプタを接続する場合



- ① 本機の#1端子とナンバー・ディスプレイ対応アダプタの回線端子を接続する。
- ② ナンバー・ディスプレイ対応アダプタの電話端子と電話機を接続する。

メモ

サービスを利用するには本機の#1端子に接続した電話機が、ナンバー・ディスプレイに対応しているかナンバー・ディスプレイ対応アダプタ(表示アダプタ)を接続する必要があります。
(ナンバー・ディスプレイ対応かどうかは、ご使用の電話機の取扱説明書を参照ください。)
サービスを利用するには、NTTへナンバー・ディスプレイサービスの申し込みが必要です。
(月額使用料および工事費が必要です。)

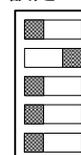
メモ

NTTのナンバー・リクエストサービスを申し込まれると、カラオケの配信ができなくなります。
NTTのナンバー・リクエストサービスの申し込みは行わないでください。
本機の電話番号非通知おことわり『あり/なし』設定を『あり』に設定してください。
設定方法は(35頁参照)
設定を『あり』にすると、相手の方が『184』をつけて電話をかけてきた場合、自動切替時間の経過後“申し訳ございませんが電話番号の前に、イ ハチ ロク をつけておかけ直してください”を2回流して回線を切ります。

メモ

設定スイッチ2のナンバー・ディスプレイ『あり/なし』設定を『あり』(ON)側に設定する。

設定SW



2『ON』

モデムダイヤルインサービスを利用する

◎自動切替のダイヤルイン番号を登録する

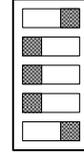
自動切替(カラオケ専用)のダイヤルイン番号を追加契約することで、電話とカラオケ配信の快適な切替ができます。

自動切替(カラオケ専用)のダイヤルイン番号にかかってきた場合、自動切替動作をします。

メモ

モデムダイヤルインサービスを利用するには設定スイッチ1のモデムダイヤルイン『あり/なし』設定を『あり』(ON側)に設定します。

設定SW



1『ON』

5『ON』

メモ

設定スイッチの5を『登録モード』(ON側)に設定します。
#1端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

1

受話器を上げ、“ププッ ププッ ププッ”という音を確認し

を押す。

2

自動切替の登録アドレス(*00#)を入力する。

***** **0** **0** **#** を押す。

3

ダイヤルイン番号を市外局番から全桁入力する。

0 **8** **2** **x** **x** **x** **0** **0** **0** **0** を押す。

4

を押す。

“プッ プッ プッ プッ ”という確認音が聞こえて登録完了。

5

受話器を下ろす。

メモ

操作の途中で“ツーッ ツーッ ツーッ”という話し中の音が聞こえる場合は、操作が間違っています。

操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ

操作が終了したら、設定スイッチ5を『動作モード』(OFF側)に設定してください。

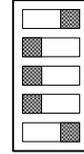
◎ # 1 端子から # 8 端子のダイヤルイン番号を登録する

1 端子(電話)専用のダイヤルイン番号を登録します。
2 端子～ # 8 端子のダイヤルイン番号は特定のカラオケ装置を、ダイヤルイン番号で切替る場合に登録します。

メモ

モデムダイヤルインサービスを利用するには設定スイッチ 1 のモデムダイヤルイン『あり/なし』設定を『あり』(ON側)に設定します。

設定SW



1『ON』

メモ

設定スイッチの 5 を『登録モード』(ON側)に設定します。
1 端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

5『ON』

1

受話器を上げ、“ププッ ププッ ププッ”という音を確認し

を押す。

2

1 端子から # 8 端子の登録アドレス (* 0 1 # ~ * 0 8 #) を入力する。

各端子の登録アドレスは

1 は (* 0 1 #) # 2 は (* 0 2 #) # 3 は (* 0 3 #) # 4 は (* 0 4 #)
5 は (* 0 5 #) # 6 は (* 0 6 #) # 7 は (* 0 7 #) # 8 は (* 0 8 #)

です。

***** **0** **1** **#** を押す。(# 1 端子(電話)の場合)

3

ダイヤルイン番号を市外局番から全桁入力する。

0 **8** **2** **x** **x** **x** **0** **0** **0** **1** を押す。

4

を押す。

“プッ プッ プッ プッ ”という確認音が聞こえて登録完了。

5

受話器を下ろす。

メモ

操作の途中で“ツーッ ツーッ ツーッ”という話し中の音が聞こえる場合は、操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ

操作が終了したら、設定スイッチ 5 を『動作モード』(OFF側)に設定してください。

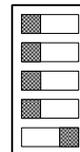
◎登録済みのダイヤルイン番号を確認する

登録済みのダイヤルイン番号を7セグ表示ランプで確認できます。

メモ

設定スイッチの5を『登録モード』（ON側）に設定します。
#1端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

設定SW



5『ON』

1

受話器を上げ、“ププッ ププッ ププッ”という音を確認し

を押す。

2

確認したいダイヤルイン番号の登録アドレスを押す（*00#～*08#）

***** **0** **2** **#** を押す。（#2端子の場合）

3

***** を押す。

4

7セグ表示ランプに、先頭から1桁ずつダイヤルイン番号を表示する。

0 8 2 2 3 4 3 5 3 3

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 桁目

5

受話器を下ろす。

メモ

操作の途中で“ツーッ ツーツ ツーツ”という話し中の音が聞こえる場合は、操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ

④でダイヤルイン番号が登録されていない場合  を表示します。

メモ

操作が終了したら、設定スイッチ5を『動作モード』（OFF側）に設定してください。

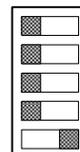
◎登録済みのダイヤルイン番号を消去する

登録済みのダイヤルイン番号を消去できます。

メモ

設定スイッチの5を『登録モード』（ON側）に設定します。
#1端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

設定SW



5『ON』

1

受話器を上げ、“ププッ ププッ ププッ”という音を確認し

を押す。

2

消去したいダイヤルイン番号の登録アドレスを押す（*00#～*08#）

***** **0** **0** **#** を押す。（自動切替の場合）

3

0を4桁入力する。

0 **0** **0** **0** を押す。

4

を押す。

“プッ プッ プッ プッ ”という確認音が聞こえて消去完了。

5

受話器を下ろす。

メモ

操作の途中で“ツーッ ツーッ ツーッ”という話し中の音が聞こえる場合は、操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ

③の操作で、新しいダイヤルイン番号を入力すると登録済みのダイヤルイン番号が上書きされ、新しいダイヤルイン番号が登録されます。

メモ

操作が終了したら、設定スイッチ5を『動作モード』（OFF側）に設定してください。

便利な機能を利用する

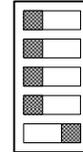
◎電話発信優先『あり／なし』設定

『あり』に設定された場合、#2端子～#8端子に接続したカラオケ装置(モデム)の通信中に、#1端子に接続した電話機からの発信を優先させます。

メモ

設定スイッチの5を『登録モード』(ON側)に設定します。
#1端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

設定SW



5『ON』

1

受話器を上げ、“プッ プッ プッ”という音を確認し

を押す。

2

登録アドレス(*42#)を入力する。

***** **4** **2** **#** を押す。

3

あり=1 なし=0 を設定する

1 を押す。 (『あり』設定の場合)

4

を押す。

“プッ プッ プッ プッ ”という確認音が聞こえて設定完了。

5

受話器を下ろす。

メモ

操作の途中で“ツーッ ツーッ ツーッ”という話し中の音が聞こえる場合は、操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ

操作が終了したら、設定スイッチ5を『動作モード』(OFF側)に設定してください。

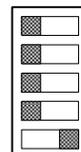
◎電話番号非通知おことわり『あり／なし』設定

『あり』に設定された場合、相手の方が『184』をつけて電話をかけてきた場合、自動切替時間の経過後“申し訳ございませんが電話番号の前に、イ ハチ ロウ をつけておかけ直してください”を2回流して回線を切ります。

メモ

設定スイッチの5を『登録モード』（ON側）に設定します。
#1端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

設定SW



5『ON』

①

受話器を上げ、“プッ プッ プッ”という音を確認し

を押す。

②

登録アドレス(*43#)を入力する。

***** **4** **3** **#** を押す。

③

あり=1 なし=0 を設定する

1 を押す。 （『あり』設定の場合）

④

を押す。

“プッ プッ プッ プッ ”という確認音が聞こえて設定完了。

⑤

受話器を下ろす。

メモ

操作の途中で“ツーッ ツーッ ツーッ”という話し中の音が聞こえる場合は、操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ

操作が終了したら、設定スイッチ5を『動作モード』（OFF側）に設定してください。

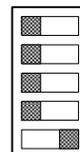
◎電話呼び出し回数制限『あり／なし』設定

『あり』に設定された場合、自動切替動作時に、電話を10回呼び出しても電話に出られない(受話器を上げない)場合、“呼び出しましたが近くにおりません、申し訳ございませんがおかけ直してください”を2回流して回線を切ります。

メモ

設定スイッチの5を『登録モード』(ON側)に設定します。
#1端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

設定SW



5『ON』

①

受話器を上げ、“ププッ ププッ ププッ”という音を確認し

を押す。

②

登録アドレス(*45#)を入力する。

***** **4** **5** **#** を押す。

③

あり=1 なし=0 を設定する

1 を押す。 (『あり』設定の場合)

④

を押す。

“プッ プッ プッ プッ ”という確認音が聞こえて設定完了。

⑤

受話器を下ろす。

メモ

操作の途中で“ツーッ ツーッ ツーッ”という話し中の音が聞こえる場合は、操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ

操作が終了したら、設定スイッチ5を『動作モード』(OFF側)に設定してください。

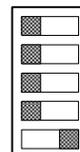
◎ピンク電話機『あり／なし』設定

『あり』に設定された場合、#1端子(電話)以外の端子(#2端子～#8端子)から発信する場合、硬貨収納信号(課金パルス)を除去します。

メモ

設定スイッチの5を『登録モード』(ON側)に設定します。
#1端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

設定SW



5『ON』

①

受話器を上げ、“プッ プッ プッ”という音を確認し

を押す。

②

登録アドレス(*46#)を入力する。

***** **4** **6** **#** を押す。

③

あり=1 なし=0 を設定する

1 を押す。 (『あり』設定の場合)

④

を押す。

“プッ プッ プッ プッ ”という確認音が聞こえて設定完了。

⑤

受話器を下ろす。

メモ

操作の途中で“ツーッ ツーッ ツーッ”という話し中の音が聞こえる場合は、操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ

操作が終了したら、設定スイッチ5を『動作モード』(OFF側)に設定してください。

◎自動切替時間『4秒～16秒』設定

設定SW3の自動切替時間を『5秒』(ON側)に設定の場合、自動切替時間を『4秒～16秒』に設定できます。

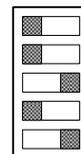
メモ

自動切替時間『4秒～16秒』設定を利用するには設定スイッチ3の自動切替時間『8秒／5秒』設定を『5秒』(ON側)に設定します。

メモ

設定スイッチの5を『登録モード』(ON側)に設定します。
#1端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

設定SW



3『ON』

5『ON』

1

受話器を上げ、“ププッ ププッ ププッ”という音を確認し

を押す。

2

登録アドレス(*47#)を入力する。

***** **4** **7** **#** を押す。

3

自動切替時間を設定する

自動切替時間は

4秒=0 5秒=1 6秒=2 7秒=3 8秒=4
9秒=5 10秒=6 12秒=7 14秒=8 16秒=9

です。

7 を押す。 (『12秒』設定の場合)

4

を押す。

“プッ プッ プッ プッ ”という確認音が聞こえて設定完了。

5

受話器を下ろす。

メモ

操作の途中で“ツーッ ツーッ ツーッ”という話し中の音が聞こえる場合は、操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ

操作が終了したら、設定スイッチ5を『動作モード』(OFF側)に設定してください。

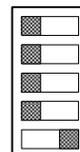
◎ #1 モデム『あり／なし』設定

『あり』に設定された場合、自動切替動作時に、切替信号が送られてこない場合、自動切替時間の経過後、電話(#1端子)を呼び出さずに回線を切ります。

メモ

設定スイッチの5を『登録モード』(ON側)に設定します。
#1端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

設定SW



5『ON』

①

受話器を上げ、“プッ プッ プッ”という音を確認し

を押す。

②

登録アドレス(*48#)を入力する。

***** **4** **8** **#** を押す。

③

あり=1 なし=0 を設定する

1 を押す。 (『あり』設定の場合)

④

を押す。

“プッ プッ プッ プッ ”という確認音が聞こえて設定完了。

⑤

受話器を下ろす。

メモ

操作の途中で“ツーッ ツーッ ツーッ”という話し中の音が聞こえる場合は、操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ

操作が終了したら、設定スイッチ5を『動作モード』(OFF側)に設定してください。

故障かな？と思ったら

症 状	チェック	対処法
表示ランプが全て消えている。	電源プラグは正しくAC100Vコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをもってAC100Vコンセントに差し込む。 (頁22参照)
電話がかかけられない。	電話のモジュラーコードは正しく接続されていますか？ ピンク電話機をお使いのとき回線の極性が逆に接続されていませんか？ ピンク電話機の極性が逆に接続されていませんか？ 電話発信優先『なし』設定の場合カラオケの配信中ではありませんか？ 電話発信優先『あり』設定の場合カラオケの配信中ではありませんか？	電話のモジュラーコードを#1端子に差し込む。 (頁19参照) 電話回線の極性を正しく接続する。 (頁16~18参照) ピンク電話機の極性を正しく接続する。 (頁20参照) カラオケの配信中は電話が使用できません。カラオケの配信が終わるまで待ってかけ直す。 (頁26.34参照) 受話器を下ろして、再度かけ直す。 (頁26.34参照)
電話が受けられない。	電話のモジュラーコードは正しく接続されていますか？ 本機の電源プラグを抜くとベルが鳴りますか？ 電話のベルが1回だけ鳴りませんか？ LCR装置が回線側に入ってますか？	電話のモジュラーコードを#1端子に差し込む。 (頁19参照) 呼び出しベルの周波数を変える。 (頁12参照) 電話機が回線側に接続されています。電話のモジュラーコードを#1端子に差し込む。 (頁19参照) 種類によっては誤動作する場合があります。LCR装置を#1端子側に接続する。
ナンバー・ディスプレイ電話機で電話が受けられない。	「電話番号非通知」おことわり『あり』設定のとき相手が184をつけて電話をかけていませんか？ 電話機のナンバー・ディスプレイ機能は有効になっていますか？ 本機のナンバー・ディスプレイ『なし』設定になっていませんか？	相手に186をつけて電話をかけてもらうか「電話番号非通知」おことわり機能を『なし』にする。 (頁29.35参照) 電話機のナンバー・ディスプレイ機能を有効にする。 (電話機の取扱説明書参照) ナンバー・ディスプレイ『あり』設定にする。 (頁29参照)

主な仕様

◎ATU-8の主な仕様

外形寸法	220mm×296mm×46mm (奥行 幅 高さ)
重量	1.5Kg
消費電力	待機時:約5W 動作時最大:約15W
電源周波数	50/60Hz
電源電圧	AC100V±10%
使用環境	温度:0℃～40℃ 湿度:20%～80% (結露無きこと) (結露無きこと)
保存環境	温度:-10℃～60℃ 湿度:10%～90% (結露無きこと) (結露無きこと)
収容回線数	1回線
適用回線	一般加入者回線 (モデムダイヤルイン、ナンバー・ディスプレイサービス対応)
直流抵抗値	231Ω
回線接続方式	モジュラーコネクタまたはネジ端子
内線数	8回線
電話機接続可能台数	1台 (ナンバー・ディスプレイサービス対応)
モデム接続可能台数	最大8台 (#1端子にカラオケ装置を接続した場合)
電話機接続方式	モジュラーコネクタまたはネジ端子
モデム接続方式	モジュラーコネクタ
切替方式	PB信号 (#1、#2、#3、#4、#5、#6、#7、#8)
	ナンバー・ディスプレイ信号 (電話番号通知、電話番号非通知)
	モデムダイヤルイン信号 (ダイヤルイン番号)

アフターサービスについて

◎保証について

- 保証期間
お買い上げ日より1年です。
保証書の記載内容に基づいて無償にて修理が受けられる期間です。
- 保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎているときは
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- 修理料金の仕組み
 - ・技術料 故障した製品を正常に修復するための修理工賃です。
 - ・部品代 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部品等を含む場合もあります。
 - ・送料 修理上がり品を発送する場合に別途申し受けます。
- 製品の状況は詳しく
サービスをご依頼になるときは製品の故障状況を、できるだけ詳しくお知らせください。
また製品の機種名、製造番号などもあわせてお知らせください。

保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- 『保証書』をご提示されない場合。
- 『保証書』の所定事項の未記入または字句の訂正をされた場合。
- お客様のお取り扱いが適正でないために生じた故障の場合。
(落とされたり、内部に手を加えられたり、水に濡らされたり、など)
- 火災、地震、水害、落雷その他天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障の場合。
- 取扱説明書に記載されていないようなご使用方法、注意事項を無視したご使用による原因で故障した場合。
- 弊社、または弊社の指定する販売店または取扱店以外で、故障修理を行われたり、改造されたりした場合。

愛情点検



★長年ご使用のために本機の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気をを感じる。
- 電気を入れても正常に動作しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため、電源プラグをAC100Vコンセントから抜き(素手ではなく、必ず厚手の手袋か布を使用して)必ず販売店または取扱店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店または取扱店にご相談ください。



株式会社 ユーズ・ビーエムビー エンタテインメント

第1版 Printed in Japan. 2002.5